

障がいの理解を深める映画会

(赤い羽根共同募金 歳末たすけあい助成事業)



ジュリア・ロバーツ オーウェン・ウィルソン ジェイコブ・トレンブレイ

やさしさの半分は
勇気でできている。



wonder

ワンダー 君は太陽

日時：令和2年1月25日(土) 14:00～

会場：小浜まちの駅・旭座 (小浜市小浜白鬚 111-1)

入場
無料



『美女と野獣』の製作スタッフがベストセラー小説を映画化!
世界中をしあわせの涙に包んで、興収320億円超えの大ヒット!



「ルーム」の天才子役とジュリア・ロバーツが固い絆で結ばれた親子を熱演
少年オギーとの交流の中で変わっていく家族や周りの人々が、皆で優しい奇跡を起こすまでを描く感動の物語

「僕は普通の10歳の子じゃない」——オギーは遺伝子の疾患で、人とは異なる顔で生まれてきた。

度重なる手術のために自宅学習を続けてきたオギーだが、両親は息子を外の世界へ送り出そうと決意する。

だが、5年生で入学した学校で、オギーはいじめや裏切りと出会ってしまう。

それでも、ありったけの勇気と知恵で立ち向かうオギーの姿に、周囲の人々が変わり始める。

そして様々な事件を乗り越えて迎えた修了式に、忘れられない1年を締めくくる最大のハプニングが待ち受けていた——。

正しさよりも優しさを選ぶ、ただそれだけで自分も世界もハッピーに変えられると教えてくれる、ワンダーな心の物語。



太陽のようなオギーに
照らされる惑星たち

オギーのことで学んだ。顔には慣れる。
彼を知ったらずっと友達でいたくなった
——ジャック・ウィル



ママはとでも
いい目をしている。
1度でいいから、
私を見てほしい
——ヴィア



孤立しても、
お前は一人じゃない
——パパ



顔は人の過去を
示す地図なの。
あなたは絶対に
讀くないわ
——ママ



オギーは見た目を
変えられない。
我々の見る目を
変えなくては
——校長先生



監督/脚本: スティーヴン・チョボスキー 出演: ジュリア・ロバーツ オーウェン・ウィルソン ジェイク・トレントレイ 配給: キノフィルムズ・木下グループ 原作: 『ワンダー』はるふ出版刊

『ワンダー 君は太陽』/6月15日(金) TOHO シネマズ日比谷ほか全国ロードショー/キノフィルムズ
Motion Picture Artwork © 2018 Lions Gate Entertainment Inc. All Rights Reserved.

主催・問い合わせ: 小浜市社会福祉協議会 TEL0770-56-5800
協力: そよかぜの会・たんぽぽの会・ぴーすふるわかさ

駐車場は
人魚の浜東駐車場を
ご利用ください